

「月つゝやつゝ」 風こたつ吹きこて おこみつゝ黒ねこて 雪ふつゝ散
りたるほひ 黒ぬに十殿寮来て 「かつて候。」 と申くは 寄つたる「」
れ、公仕の宰相殿の。」 とてあるを見れば、懷紙」

少し春ある心地」すわ。

とあるは、丁に今日のけしきこととあひたるを、「これが本ほじかでかつ
くべかのほど 想ひわづらひぬ。」たれたれか。」と問へば、「やれやれ。」と
言ふ。みないと恥づかしき申て、御相の御じらくを、「かでかじしなつて
言ひ出でむび 心一つに散つて、御前に御賢せやむむすねび」上のねば
しまつて大殿籠りたり。十殿寮は、「じへ じへ。」と言ふ。ナリ むだつて
へあらむば、こととづひじなむれば、わせねひて

〔狂歌み花〕まがへて散る雪」

と わななくわななく書きてといせで、いかに思ふるむび わび。」これが
「じとを聞かばやと思ふ」、そしらねたばは聞かじとおほゆるを、「俊賢の宰相
など、『なほ』 内侍に奏しておむわ。」となむ。定め詰ひ。」とばかりの 左
兵衛督の 中将にねせび 語つ給ひ。

〔問題〕 全ての問題について、問題に特に指定がなくとも極力漢字で答へ、助動詞、助詞、反語、敬語を正確に記す。」と
「傍線部」「月つゝやつゝ」を口語訳せよ。また、「月」の読みを答へよ。

「傍線部」風いたつ吹きこへつち散りたるほど」を口語訳せよ。

三傍線部「主殿寮」について、読みを答へ、文中での意味を答へよ。

四傍線部「かつて候ふ」は、慣用的な表現である。現在のどのよつな言葉に相当するか、答へよ。

五傍線部「寄りたひて」を口語訳せよ。また、「の」動作の主体は誰か。適当な語で答へよ。

六傍線部「これ、公仕の宰相殿の」を、省略されている表現を補つて口語訳し、「公仕の宰相殿」とは誰のじいか、姓名を平仮名で答へよ。

七傍線部「げに今日のけしき」ことよつあひたるを」を口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、その文法的意味を答へよ。

八傍線部「これ」とは何か、答へよ。

九傍線部「本」とは何か、答へよ。

十傍線部「いかでかと思ひわづらひぬ」を口語訳せよ。また、助動詞を全て抜き出し、その文法的意味を答へよ。

十一傍線部「それそれ」について、意味を答へよ。また、「の」動作の主体はその結果何をしよつとしたか、最も端的に表現されている部分を、

十二傍線部「みないと恥づかしき申て」を口語訳せよ。

十三傍線部「宰相の御じらく」とは何か、答へよ。

十四傍線部「いかでか」となじびに言ひ出でむ」を口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、その文法的意味を答へよ。

十五傍線部「心一つに苦しきを」を口語訳せよ。また、「の」動作の主体はその結果何をしよつとしたか、最も端的に表現されている部分を、

文中より抜き出せ。

十六傍線部「御前」について、読みを答へ、具体的に何のじとか、漢字十字以内で答へよ。

十七傍線部「御賢せやせむとすれど」を口語訳せよ。

十八傍線部「上」について、一般に何のじとか。また、実際に文中では何を指してこるか、それぞれ答へよ。

十九傍線部「おはしまつて大殿籠りたり」を、主語が明らかになるよう適宜補て口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、文法的意味を答へよ。

二十傍線部「とへ とへ」について、意味を答へよ。また、十殿寮は誰がどつすりいとこへじつて言つたのか、説明せよ。

二一傍線部「げにてへくあらむは」について、口語訳せよ。また、「(ナリ) へく」の文中での働きを、文法的に説明をせよ。

二二傍線部「こととづひじなければ」を口語訳せよ。

二三傍線部「わせれど」を口語訳せよ。

四傍線部「狂歌み花」まがへて散る雪」を口語訳せよ。また、言葉は公仕の言葉とじもにあつて書物からの引用である。書物の名を答へよ。

五傍線部「わななくわななく書きてといせで」を口語訳せよ。また、「わななくわななく」となつたのは何故か、文中を参照して答へよ。

六傍線部「いかに思ひらむと、わび」を、主語、助動詞等を明確にした上で口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、文法的意味を答へよ。

七傍線部「これが」とを聞かばやと思ふ」を助詞に注意して口語訳せよ。

八傍線部「そしらねたばは聞かじとおぼやむを」を口語訳せよ。また、助動詞を全て抜き出し、文法的意味をそれぞれ答へよ。

九傍線部「俊賢の宰相」とは誰か、姓名と官職を併せて答へよ。また、「宰相」は唐語である。大和名を漢字で答へよ。

三十傍線部「なほ」の意味を答へよ。

三一傍線部「内侍」について、「れは内侍可」にける第三等級の官職名であるが、正確な名称は何か。次に挙げる官職から答へよ。

〔選択肢〕 奉侍(なまこしのじよひ)・尚侍(なまこしのかみ)・典侍(なまこしのすけ)
三「傍線部」内侍に奏してなむを敬語表現・助動詞に注意して口語訳せよ。

三二傍線部「左兵衛督の語り給ひし」を口語訳せよ。

三四文中より全ての係りを抜き出せ(和歌・会話を含む)。

三五文の作品は、一般に文学的分類のどの分類に属するか、答へよ。また、作者名を漢字で答へよ。

三六文中の「公仕の宰相」と「俊賢の宰相」に「藤原齊信」と「藤原行成」を加えて何と言つたか、漢字二字で答へよ。

「円つゝもつゝに」 本文 口語訳

赤シートを使って暗記・確認用に利用してください。

赤線は、それぞれ 敬語（動詞） 敬語（補助動詞） 助動詞 助詞など（重複語句等） を表す

「円つゝもつゝに」 風が激しく吹いて、空がだいへん暗く、雪が少し降っている時

黒戸に主殿寮の役人が来て、「あくまでおひたるを」と言つて、近寄つてみた。「これは、公任様からのお手紙です。」

黒戸に主殿寮来て、「かつて候ふ」と言へば、寄つたる。「いや、公任の宰相殿の。」

と黙つて差し出したのを見るど、懐紙に、

とてあるを見れば、懐紙に、

少し春ある心地にすれ

と書いてあるのは、なんどか今日の空模様にこいへんよへ合つてゐるが、この上の句は、いつやつて作つたらよござながと、思つてゐたが、

とあるは、 ぱり今日の空模様にことよひあひたるを、「わが本はこかでかつへべかひどい」と、思ひわづらひ。

「公任様と一緒にこらへしゃるのはじなたどじなたですか。」と聞くと、「誰それです。」と聞ひ。

「たれたれか。」

と問へば、「それそれ。」と聞ひ。

と書いてあるのは、なんどか今日の空模様にこいへんよへ合つてゐるが、

とあるは、 ぱり今日の空模様にことよひあひたるを、「わが本はこかでかつへべかひどい」と、思ひわづらひ。

「たれたれか。」

と問へば、「それそれ。」と聞ひ。

「空が寒いので、花に似せて降る雪に」

わびし。

わびし。

わびし。

わびし。

わびし。

わびし。

わびし。

わびし。

わびし。